

## 地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業

### (地方公共団体のDX関係)

#### ○登録者情報

菅野 信広 (すがの のぶひろ)

所在地 東京都

組織名・所属 役職

日本 IBM コンサルティング事業本部  
流通事業部 理事



#### 略歴

- ・20年以上にわたり、IT・コンサル業界に従事
- ・システム構想策定からシステム導入後サポートに至る、システム導入ライフサイクル全般におけるコンサルティングおよびプロジェクトマネジメントを経験
- ・近年、プロジェクト責任者として、複数企業のDXプロジェクトを推進。特にCRM戦略を得意とする。
- ・2021年よりIBMコンサルティング事業本部 消費財インダストリー責任者として従事

#### ○主な取組内容・実績

##### 全社DX推進（流通業）

- ・全社全ての業務において、DXすべきところ、残すところを検討
- ・DX化すべき点については業務変革とともに、社員の意識改革も含めて推進
- ・また、DX化によるシステム開発、運用保守計画を実施中（現在継続中）

##### 営業改革（流通業）

- ・B2C, B2B 双方の営業における現状、あるべき姿を定義
- ・あるべき姿に向かうためのロードマップ、および具体的な実行計画を策定

EC (Electronic Commerce : 電子商取引) 戦略立案・システム化計画、導入 (流通業)

- ・ 事業モデルに合わせた EC 戦略を立案
- ・ EC 事業立上に向けたロードマップ、具体的な実行計画を策定 (同一業界における EC 比率、海外事例を含めた調査含む)
- ・ 実行計画に従い、業務設計、システム導入、および実運用 (業務、システム) を実施

## ○その他

- ・ 流通業 (特に小売業) は、地域密着型産業であり、消費者である地域住民と直接関わり、地域社会への貢献は大きい。
  - ・ また、流通業は B2C ビジネスのため、消費者を意識した DX の推進ノウハウは地域住民への DX 活用にも広く応用できると考える。
  - ・ 以上のことから、流通業におけるこれまでの経験 (DX 化方針立案、BPR, 業務改革推進、DX 人材確保・育成など) を活かした活動での貢献が可能と考える。
- ・ 専門誌への投稿
- IT 専門雑誌 (i-Magagin 社) への流通業における DX 課題・戦略を寄稿  
(<https://www.imagazine.co.jp/retail-consumer2022-01/>)